



お役立ち情報

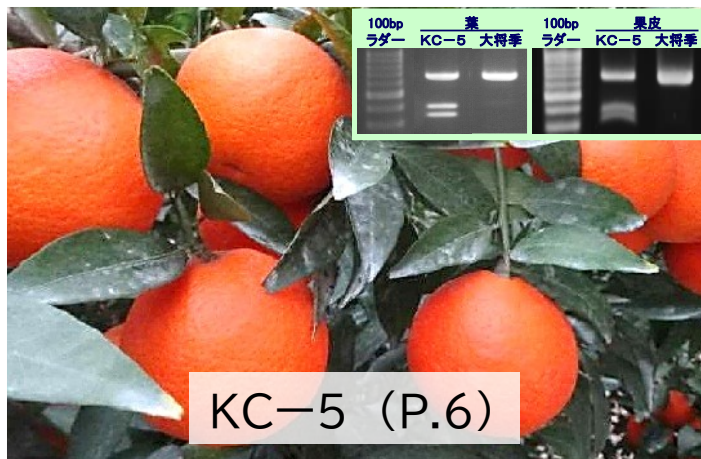
総合版
(R08)

～鹿児島県農業で活用いただきたい新品種・新技術（令和7年度普及情報）～

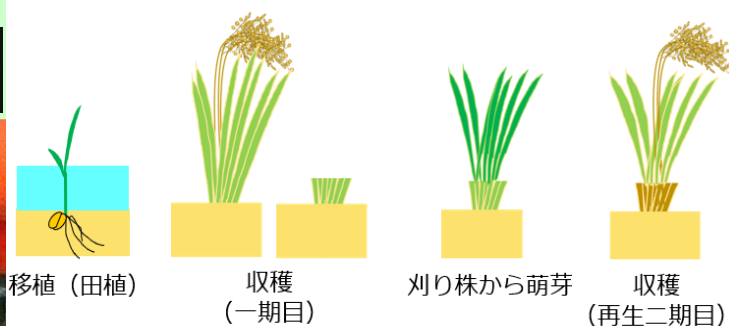
南の宝箱 鹿児島



秀巧喜（P.7）



KC-5（P.6）



水稻再生二期作（P.1）



ドローン防除（P.2）



トルコギキョウ（P.5）

目次

作物に関する情報
野菜に関する情報
土壌に関する情報

P.1～2
P.3
P.4

花きに関する情報
花き・果樹・野菜に関する情報
畜産に関する情報

P.5
P.6
P.7

鹿児島県農業開発総合センター

農業開発総合センター

検索



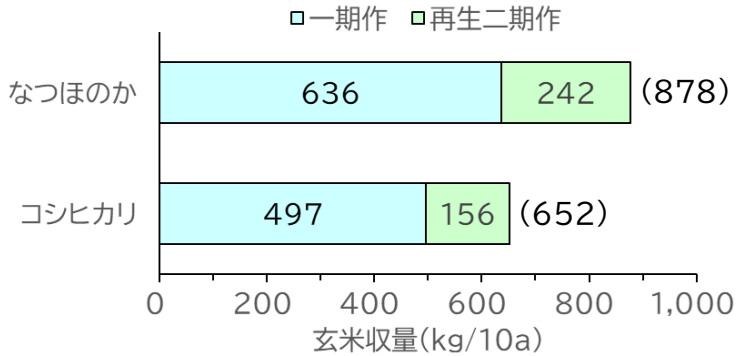
作物に関する情報

早期水稻の再生二期作栽培

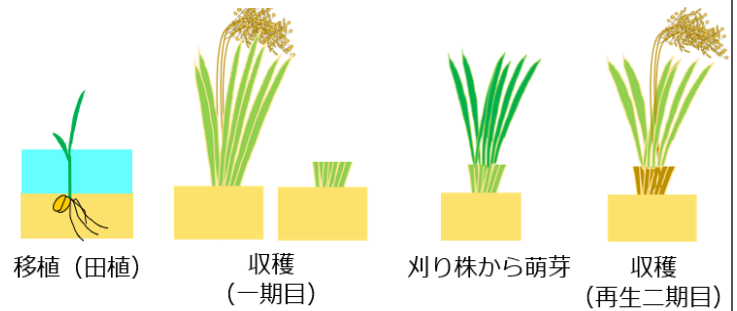
園芸作物部(令和7年度)

成果のポイント

- 品種は「なつほのか」が適する
- 二期作目の収量は、一期作目の4割程度
- 1回の植付で、年間800kg/10a以上の収量が得られる



再生二期作のイメージ



熊毛サトウキビ「はるのおうぎ」の株出し管理省力体系

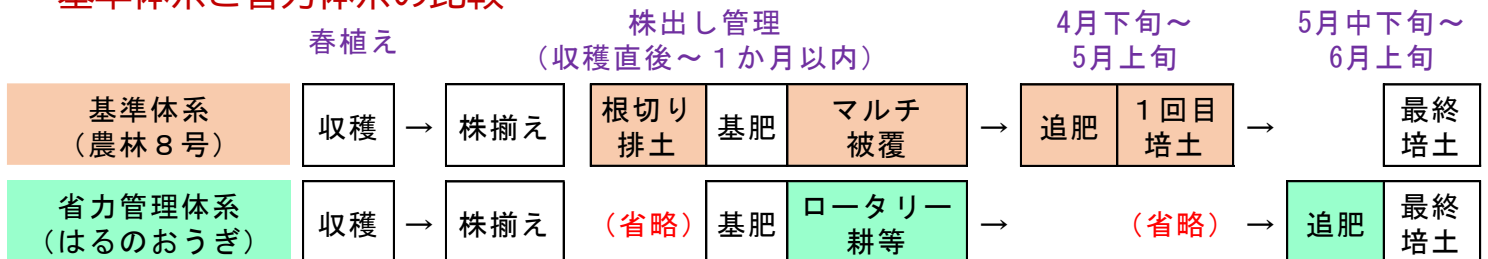
熊毛支場(令和7年度)

成果のポイント

- 「はるのおうぎ」株出し栽培は、マルチ被覆不要
- さらに根切り排土の省略、培土回数を減らしても収量、品質は同等で、省力的



基準体系と省力体系の比較



サトウキビの畝幅拡大による省力化と労働生産性向上

徳之島支場(令和7年度)

成果のポイント

畝幅の拡大(従来130cm → 150cm)

- 作業時間10%削減
- 労働生産性10%向上
- 収量、品質は同等

<栽培条件>

- ・ビレットプランタによる植え付け
- ・小型トラクタによる作業体系
- ・植付苗量は畝幅の違いによらず同等



余裕があつて作業しやすい!

10a当たりの畝長が短い!!

作物に関する情報

原料用サツマイモの新奨励品種「コガネタイガン」

園芸作物部(令和7年度)

成果のポイント

- サツマイモ基腐病、つる割病に強く、多収、でん粉収量多
- 萌芽性、貯蔵性は良好
- 新たな原料用サツマイモとして期待が高い



品種名	サツマイモ基腐病抵抗性	つる割病抵抗性	上いも重(t/10a)		萌芽性	貯蔵性
			4月植	5月植		
コガネタイガン	強	強	5.0	4.4	良	易
シロユタカ	中	やや弱	3.3	2.7	良	やや易
コガネセンガン	やや弱	弱	3.1	2.2	中	中



原料用サツマイモにおける基腐病低コスト防除

生産環境部(令和7年度)

成果のポイント

前作の基腐病・土壌汚染度に応じた栽培管理の目安



土壌汚染度【中】の場合

- 抵抗性弱品種(コガネセンガン等)
生育前半の体系防除+栽培期間120日で収穫(収穫遅れは危険)
- 抵抗性強品種(みちしずく等)
生育前半の体系防除+栽培期間180日まで収穫可能

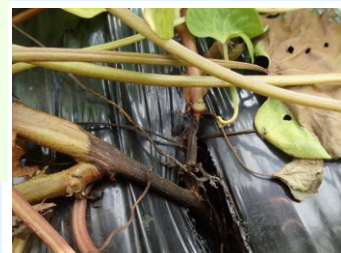
土壌汚染度【多】の場合

- 原則として、輪作や休耕(サツマイモ栽培の休止)

※ 土壌汚染度【中】:前作の塊根腐敗率が10%以上20%未満であったほ場を想定
※ 土壌汚染度【多】:前作の塊根腐敗率が20%以上であったほ場を想定

【生育前半の体系防除】

- ・苗消毒:ベンレート
- ・土壌消毒:フリント
- ・前半防除:フロンサイド2回



サツマイモ生育前半における基腐病の効果的・省力的防除

生産環境部(令和7年度)

成果のポイント

- 生育前半の2回防除が効果的
- 2パターンの防除効果は同等

①パターン1

- 1回目:フロンサイド
 - 2回目:フロンサイド
- (植付4~6週間内)

②パターン2

- 1回目:フロンサイド (植付4~6週間内)
- 2回目:アミスター (植付6~9週間内)

※ アミスターは、無人航空機散布登録有 → ドローンによる省力防除が可能



野菜に関する情報

北海道産種イモを用いたバレイショ「しまあかり」の生産性向上

園芸作物部・徳之島支場(令和7年度)

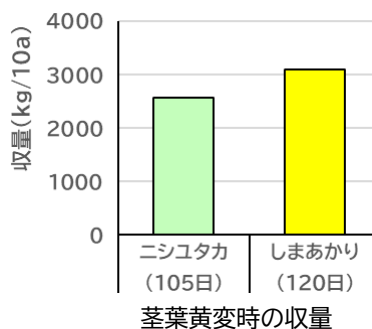
成果のポイント

- 植付までの保管温度は、常温(15.5℃)又は26℃で出芽が良好
- 早掘作型において、熟期は「ニシユタカ」より遅く、
茎葉黄変後の収穫により収量は「ニシユタカ」と同等以上



種イモについて、北海道での収穫から
鹿児島での植付までの期間の適正な保管管理が重要

栽培地	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道 種イモ栽培											
本県 一般栽培											



全体が黄変したバレイショ

バレイショ「こいじゃ」の高品質多収のための積算温度と生育日数

園芸作物部(令和7年度)

成果のポイント

- 春作栽培では、植付～収穫までの積算温度は1,500度日が適当
- 生育日数の目安は、早植えて100～110日、遅植えて90～95日



植付時期	生育日数(日)	積算温度(度日)	上イモ収量(t/10a)	でん粉価(%)	褐色心腐発生個数率(%)
2月上旬(早植)	90	1,321	3.1	13.1	2.5
	100	1,489	4.2	13.3	9.4
	110	1,576	4.7	13.3	10.0
2月中旬(遅植)	80	1,208	2.2	14.8	0.0
	90	1,433	3.5	14.5	5.0
	100	1,650	4.7	13.8	12.5
	110	1,841	4.7	13.2	30.0

種子島ブロッコリーの作期拡大のための11月及び4月収穫有望品種

熊毛支場(令和7年度)

成果のポイント

- 現行品種「快緑」は、生理障害が発生しやすく作期拡大が困難
- 「快緑」と、早生品種「きぼう(BL456)」、中晩生品種「グランドーム」を組合せることにより作期拡大、出荷分散が可能

品種名	生理障害	11月	12月	1月	2月	3月	4月
BL456	少	●	●				
快緑(現行品種)	11月、4月多	×	●	●	●	●	×
グランドーム	少					●	●



混合堆肥複合肥料など堆肥入り肥料の各作物へ施用効果

生産環境部(令和7年度)

肥料法の改正により、化学肥料と家畜ふん堆肥等を混合した堆肥入り肥料の製造・販売が可能



成果のポイント

- 堆肥入り肥料の窒素肥効は、化学肥料(硫安)と同様に速効的
- 堆肥入り肥料で栽培した各作物の収量は、慣行肥料で栽培したものと同等
- 堆肥入り肥料の利用により、化学肥料成分使用量およびコストが削減

肥料の種類

家畜ふん堆肥等の有機物と化学肥料を混合して造粒した肥料(混合堆肥複合肥料)



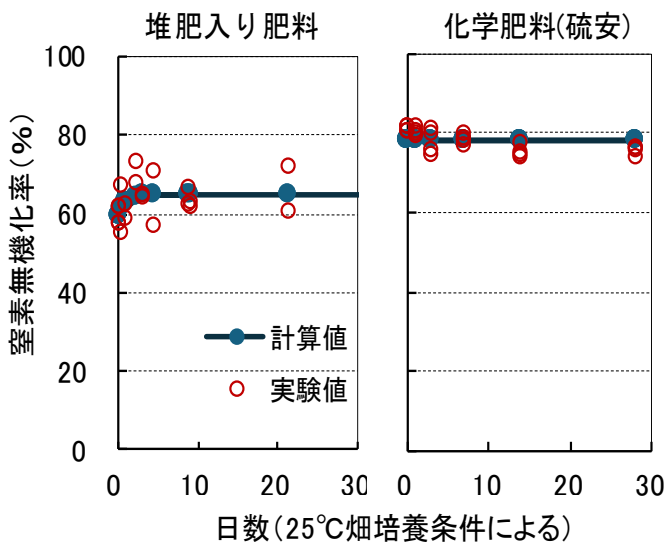
混合堆肥複合肥料と化学肥料を配合した各作物の専用肥料



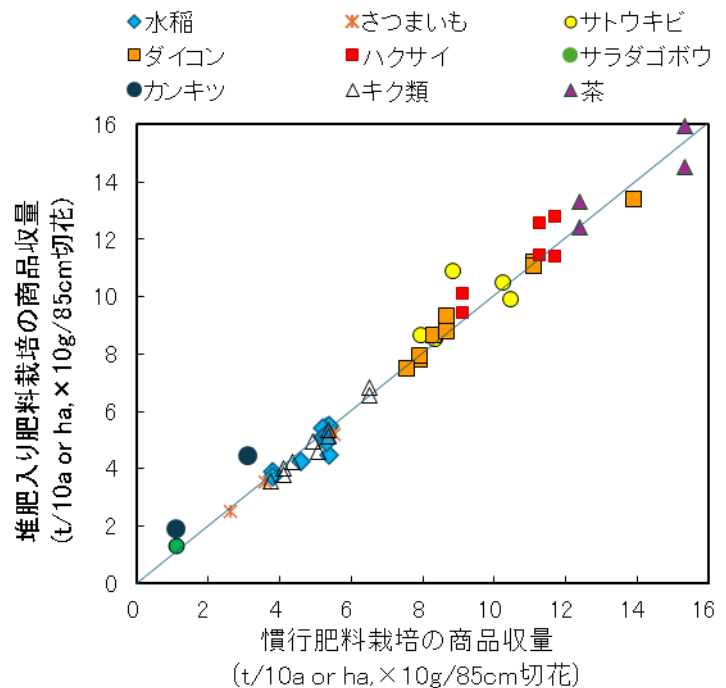
ペレット化堆肥と化学肥料を混合した肥料(指定混合肥料)



堆肥入り肥料の窒素肥効



慣行肥料と堆肥入り肥料栽培の商品収量比較



化学肥料成分および肥料費の削減

品 目	化学肥料成分 削減率(%)	肥料費 削減率(%)	品 目	化学肥料成分 削減率(%)	肥料費 削減率(%)
早期水稲	13.0	27.9	ハクサイ	11.1	32.8
普通期水稲	3.5	4.8	サラダゴボウ	13.2	13.2
青果用さつまいも	22.3	7.7	カンキツ(大将季)	8.6	38.7
原料用さつまいも	10.9	6.0	スプレーグク	23.5	5.0
サトウキビ	2.6	8.4	茶	3.2	3.0

注1) 各作物を対照とした配合肥料を用いて、一般的な施肥量条件下で試算(令和7年8月時点の価格で試算)

2) 化学肥料成分削減率(%) : 原料堆肥等の窒素、リン酸、カリ成分合計量 / 堆肥入り肥料の窒素、リン酸、カリ成分合計量 × 100

花きに関する情報

トルコギキョウ県本土12月+5月出しの二度切り栽培有望品種

果樹・花き部(令和7年度)

成果のポイント

- 12月出し及び二度切り目の5月出しの両作型において、67品種の中から県本土での栽培に適した有望4品種を選定



ボレロホワイト
中輪・丸弁



ボレロフレアホワイト
中輪・フリル



クリスハート
中輪・丸弁



渚B
中輪・丸弁

選定基準

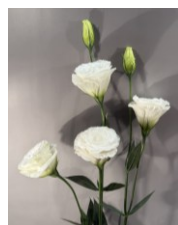
12月出し: 12/25までに90%以上収穫でき、収穫期間が15日以内、草丈65cm以上、有効花数2.5輪以上、商品化率80%以上で茎が硬く、チップバーンやブラスチング等の生理障害発生が少ないもの
5月出し(二度切り目): 5月中に50%以上収穫でき、草丈75cm以上(その他は12月出し準ずる)

トルコギキョウ県本土2~3月出しにおける有望品種

果樹・花き部(令和7年度)

成果のポイント

- 2~3月出しにおいて、80品種の中から県本土での栽培に適した有望16品種を選定



コロンホワイト
中輪・丸弁



サブリナホワイト
中小輪・フリル



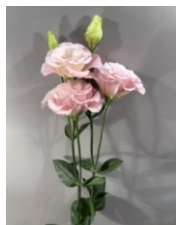
ボレロホワイト
中輪・丸弁



ボレロフレアホワイト
中輪・フリル



セレブバニラ
大輪・フリジ



クリスハート
中輪・丸弁



スプリングモンロー
大輪・丸弁



パピロピンク
中小輪・丸弁



パール1型ローズ
大輪・フリル



ホヤージュ2型
チェリーピンク
大輪・フリジ



ホヤージュ2型
ピンクシェイク
大輪・フリジ



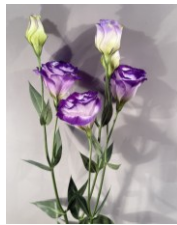
セレブ1型
ライラック
大輪・フリジ



レイナ2型ディープ
ラベンダーVer.3
大輪・セミフリル



エーゲマリン
中輪・丸弁



渚B
中輪・丸弁



ボレログリーン
中輪・丸弁

選定基準

3月までに90%以上収穫でき、収穫期間が21日以内、草丈75cm以上、有効花数2.5輪以上、商品化率80%以上で茎が硬く、チップバーンやブラスチング等の生理障害発生が少ないもの

花き・果樹・野菜に関する情報

奄美地域テッポウユリ「咲八姫」の3月開花に適する球根サイズ

徳之島支場(令和7年度)

成果のポイント 球根のサイズは、3S球が適

- 目標とする草丈85cm以上、正常花率80%以上を確保
- 出荷最適輪数(2～4輪)の割合は、高温年で96%、低温年で79%



3月開花での3S球の着蕾状況

球根のサイズ

S	65g以上95g未満
2S	45g以上65g未満
3S	33g以上45g未満
4S	22g以上33g未満
5S	12g以上22g未満

球根サイズ別の開花日と切り花品質

年度	球根サイズ	草丈(cm)	正常花率(%)
令和5年度	S	112	90.4
	3S	98	94.0
	5S	88	87.5
令和6年度	S	145	82.1
	2S	136	73.4
	3S	133	88.8

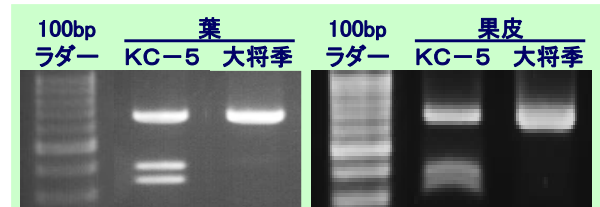
DNAマーカーによる県育成カンキツ品種「KC-5」の品種識別

園芸作物部(令和7年度)

成果のポイント

- 2種のマーカーの組み合わせで、「KC-5」と本県主要7品種との識別が可能
- 種苗流出や不適切な栽培・流通を未然に防止

品 種 名	マーカー名	
	Bf0036-2	Tf0419
	Msp I	Pvu II
KC-5	AB	BB
べにばえ (KC-5種子親)	AA	BB
中間母本農5号 (KC-5花粉親)	AB	AB
大將季 (不知火枝変わり)	AA	AB
不知火	AA	AB
垂水1号 (タンカン)	AA	AB
薩州 (ポンカン)	AB	AB
吉田ポンカン	AB	AB
かごしま早生 (ウンシュウミカン)	BB	BB
大橋	BB	BB



根深ネギのネギハモグリバエ(B系統)に対する薬剤体系防除

生産環境部(令和7年度)

成果のポイント

- 作用機構の異なる薬剤を約20日間隔でローテーション散布することにより、B系統の被害を抑制し、収量が増加



20日間隔薬剤散布体系防除例 (R7.5.16植付、12.2収穫)

農薬名	IRACコード	処理方法	処理月日
バリマークSC	28	灌注	5/16
ダントツ粒剤	4A	株元散布	6/30
アグロスリン乳剤	3A	散布	7/15
アグリメック	6	散布	8/4
ダブルシューターSE	5	散布	8/29
ダントツ粒剤	4A	株元散布	9/8
プロフレアSC	30	散布	9/19
ディアナSC	5	散布	9/30
ダントツ粒剤	4A	株元散布	10/10
ベネビアOD	28	散布	10/21
グレースシア乳剤	30	散布	11/14



B系統による被害

畜産に関する情報

収量性に優れたイタリアンライグラス早生品種「INZ-19」

畜産試験場(令和7年度)

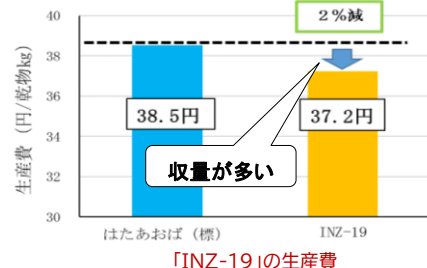
成果のポイント 「INZ-19」(商品名:いなずまGT)の特徴

- 「はたあおば」(標準品種)と比較すると
乾物収量は104%と多収、耐倒伏性、耐病性は同程度
- 「いなずま」(旧県奨励品種)と比較すると
乾物収量、耐倒伏性、耐病性は同程度、いもち病耐性強化



品種	倒伏程度 ¹⁾		病虫害程度 ¹⁾		乾物収量(kg/10a)			乾物収量の対標準(%)
	1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草	計	
INZ-19	4.7	2.2	1.6	1.7	1,326	377	1,703	104
はたあおば(標準品種)	5.7	2.6	1.0	1.4	1,231	408	1,639	100
いなずま(旧県奨励品種)	5.8	2.9	1.1	1.3	1,325	411	1,737	106

注1) 倒伏程度・病虫害程度: 1(無または極微)~9(甚)

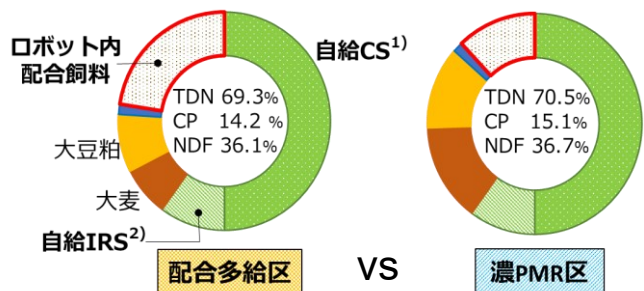


自給粗飼料と搾乳ロボットの特性を活かした収益性向上

畜産試験場(令和7年度)

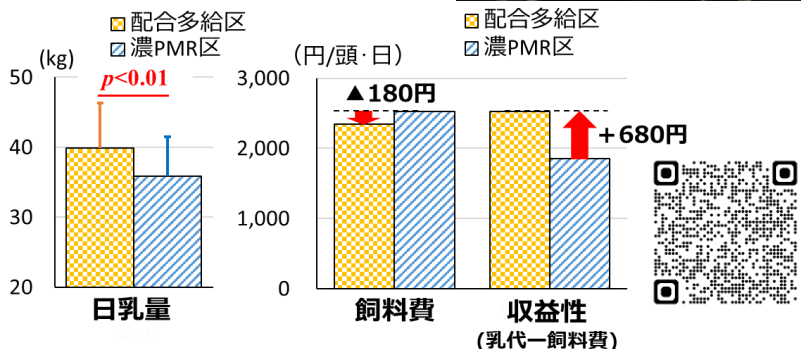
成果のポイント

- 自給粗飼料主体の部分混合飼料(PMR)で飼料費が低減し、乳量も多く、収益性が向上
- 自給粗飼料主体のPMRに、さらにロボット内配合飼料を多給することで、栄養価が低いPMRでも乳量が多く、収益性が向上



試験における飼料設計値

1) トウモロコシサイレージ 2) イタリアンライグラスサイレージ

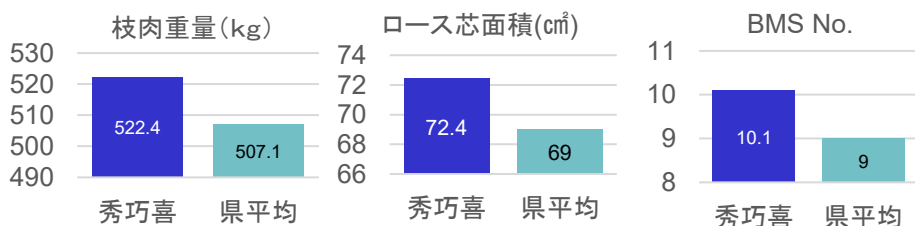


「和牛日本一鹿児島」を支える種雄牛「秀巧喜(ひでたくよし)」号

肉用牛改良研究所(令和7年度)

成果のポイント

- 高い脂肪交雑能力とともにロース芯面積、枝肉重量、歩留基準値に優れる
- 「秀幸福」号の後継種雄牛で栄光系の遺伝的関与が高い
- 脂肪交雑の形状は「小ザシ」傾向にあり、今後の改良が期待される
- 産子は発育、体積、体伸、資質に優れる



交配対象の父

※県平均は一般肥育出荷成績(R6年度)「公社 日本食肉格付協会」

○安福久などの但馬系母体、喜亀忠、百合茂などの気高系母体

【血統】 秀幸福-喜亀忠-華春福
【生年月日】 令和元年8月13日

